

自治体・協議会名	岐阜県地域公共交通協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・公共交通サービスの維持が課題となる中、新モビリティサービス(MaaS や AI を活用したオンデマンド交通)の導入支援に取り組み、利便性の向上と運行の効率化に繋がっていることを確認しました。
- ・燃料価格や物価の高騰の影響により厳しい状況にある公共交通事業者に対し、燃料価格高騰分の一部を支援されたことを確認しました。
- ・自動運転の社会実装に向けた取組として、自治体を実施する自動運転移動サービス導入事業を支援していることを確認しました。

期待する取組

- ・DXの推進に向け、自治体がGTFSデータの整備・更新を適切に行えるよう、引き続き自治体担当者向け勉強会の開催等を通して支援されることを期待します。
- ・運転手不足への対応として、国・自治体・協会と連携し、説明会やフェアの開催など、さまざまな取組を継続されることを期待します。
- ・地域間幹線系統の現状把握について、正確に現況を把握し分析するとともに、系統ごとに今後の改善点について関係者間で丁寧に協議されることを期待します。また、高速バスにあっても地域間幹線系統に位置付けて路線を維持する方策を検討するなど、通学の足確保のための幅広い取組の推進を期待します。
- ・東濃中部医療センターへのアクセスなど、交通需要が大きく変化する場合においては、県として積極的に関与され、協議や調整を進められるよう期待します。